

ふらふら

(財)鳥取県労福協

第253号

題字

柴山抱海書

第253号 も く じ

第43回スポーツ祭典.....	2
第15回全国ボランティアフェスティバル群馬...	3
鳥取県最低賃金.....	3
西部労福協第25回研究集会報告.....	4
第37回勤労者福祉学習会報告.....	4
労福協まつりが開催されました.....	5
カンパ.....	5
全労済.....	6
NPO団体紹介NO.2.....	6
2006年度 国内交流 「in 沖縄」 報告.....	7
中部葬祭会館オープン.....	7
労金育児支援ローン.....	8
みなくる.....	8

第43回スポーツ祭典

白熱した試合続出!!

「第43回鳥取県労働者スポーツ祭典」白熱した試合の続出で終了する。

2006年度スポーツ祭典が10月1日（日）小雨の中、開催されました。当日は、朝から天候が心配されましたが三朝町総合スポーツセンターを主会場として、軟式野球・ソフトボール・バレーボール・バドミントン・Gゴルフの5種目の戦いが開始されました。

7月2日の中部地区予選会をかわきりに県内3地区で予選が始まりました。地区大会の総参加選手は1,288名・参加チーム数は141におよびました。

県予選での戦いを制した精鋭チームが県NO1を目指し白熱した戦いが展開されました。

戦いの厳しさの中、職場チーム間の親睦もあり、労

福協が目指している働く仲間の連帯感が深まった大会になりました。続いて翌週の10月8日（日）には卓球・ボウリングが湯梨浜町（羽合・泊）会場で開催され2週間に及ぶスポーツ祭典が終了しました。

各種目の表彰式では健闘をたたえた、和やかな雰囲気での表彰風景が見られました。

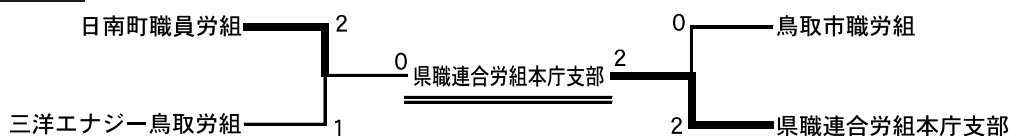
最後にこの大会を支えていただいた各支部の役員の皆様、動員にて1日をスポーツ祭典に費やしていただいた皆様、各競技審判団の皆様のご協力を得て、大会が成功裡に終了出来ましたことに感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

第43回鳥取県労働者スポーツ祭典 結果表

開催日時 2006年10月1日（日）・8（日）開催場所 三朝町総合スポーツセンター他

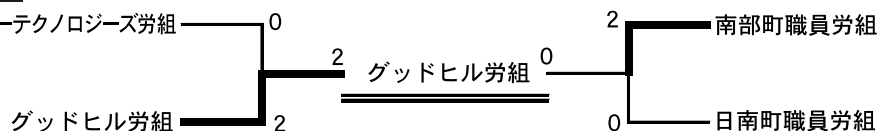
バレーボール(男子)

最優秀選手
福井さん



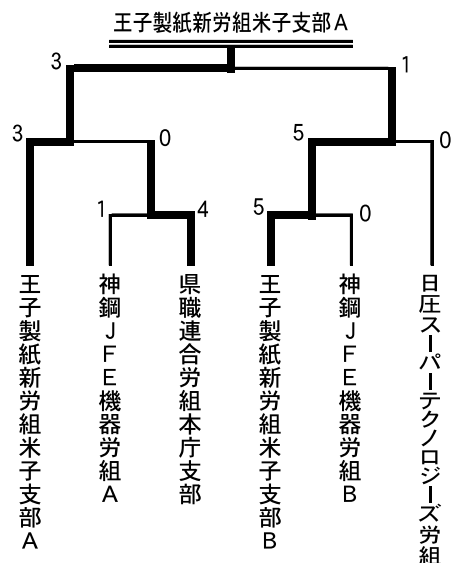
バレーボール(女子)

最優秀選手 日圧スーパーテクノロジーズ労組
山根さん



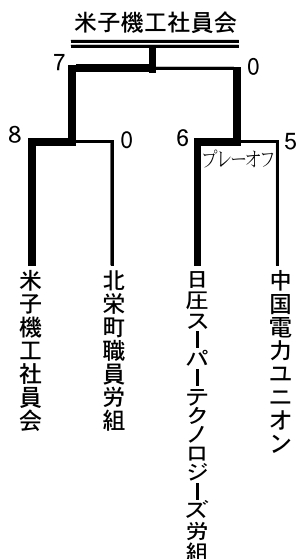
卓 球

最優秀選手
国広さん



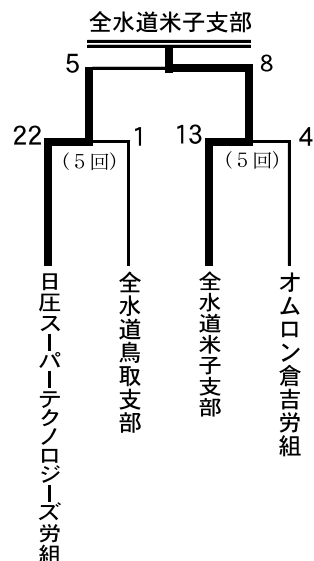
軟式野球

最優秀選手
廣山さん



ソフトボール

最優秀選手
金田さん



**ボウリング**

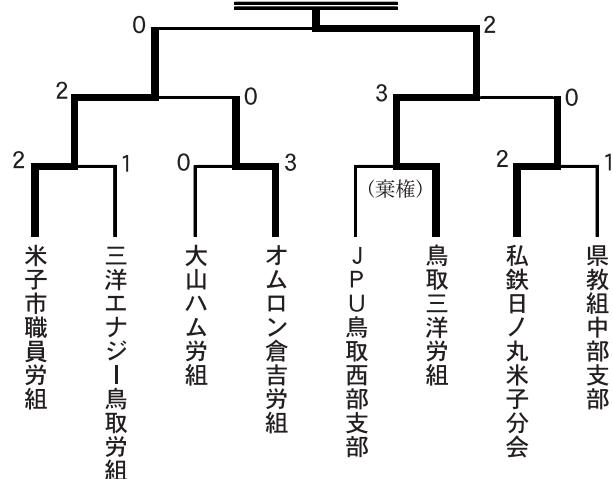
最優秀選手

足立さん
村尾さん

順位	チーム名	得点
1	全 水 道 米 子 支 部	1304
2	オムロン倉吉労組 A	1148
3	私 鉄 日 ノ 丸 倉 吉	1136
4	大 山 ハ ム 労 組 B	1130
5	日立金属労組鳥取支部	1126
6	鳥 取 三 洋 電 機 労 組	1111
7	オ ン キ ョ ー 労 組 A	1055
8	全 日 通	1038
9	グ ッ ド ヒ ル 労 組	1031
10	大 山 ハ ム 労 組 A	1020
11	オムロン倉吉労組 B	988
12	オ ン キ ョ ー 労 組 B	929

バドミントン最優秀選手
佐々木さん

鳥取三洋労組

**グラウンドゴルフ**最優秀選手
大前さん

順位	チーム名
1	三洋エナジー鳥取労組
2	全水道米子支部
3	鳥取旭工業労組



第15回全国ボランティアフェスティバルぐんまが11月3日（金）・4日（土）群馬県前橋市を主会場に開催されました。

大会のテーマは笑顔のかけ橋ですが、テーマにそった笑顔に出会えるようなボランティア活動の素晴らしさを、世代に伝えていくことを全国へ発信する群馬大会でした。

中部支部事務局長 梅津 浩治

鳥 取 県 最 低 賃 金

時間給614円 効力発生日：平成18年10月1日

＊電気機械器具等製造業最低賃金（略称）【1時間711円】各種商品小売業最低賃金（1時間683円）が別に定められています。

詳しくは、鳥取労働局労働基準部賃金室（0857-29-1705）又は最寄りの労働基準監督署へお尋ねください。

西部労福協第25回研究集会報告

(2006年11月9日より10日・香川県丸亀市「ホテルレオマの森」)

11月9日(木)・10日(金)の2日間の日程で、香川県丸亀市のホテルレオマの森に於いて中四国各県から87名の参加で開催されました。

まず、開会で「社会変化が慌ただしいこの時期こそ我々の自主福祉活動が求められる。実践報告などを聞いて明日からの活動の参考にして頂きたい」と挨拶があり、主催者の坂根会長より日頃の活動に対し感謝の言葉があり研修会が開会されました。

研修会は総研 麻生裕子研究員による「21世紀の活力ある労働者自主福祉活動を求めて」と題した講演で開始されました。

労働組合や労働者自主福祉活動をめぐる社会的な構造変化も激しくなる中で、これから進むべき方向として、「職域から地域へ」でなく「地域軸を主体としたコミュニティーの復権」を求めているかなければならない。

労福協は最小単位の「拠り所」、そこに行けば何かが生まれる、何とかなるきっかけがつかめるという「ワンストップ・サービス」の拠点が求められていると話された。

続いて、特別報告として NPO法人わははネット代表 中橋恵美子さんによる「子育て応援タクシーの取り組み」について紹介がありました。中橋さんの貴重な経験をもと

に楽しくお話され、笑いの絶えない講演でした。

2日目では、まず岡山県労福協 枝木事務局長による「子育て支援事業 おかやま緊急サポートネットワークの取り組み」について紹介がありました。「当事者の目線」を念頭に置き活動されている姿の報告がされました。

続いて、岡山県労福協 鳥越理事による「第38次欧州労働者福祉視察」の報告がありました。訪問先のデンマークの事情について話されました。デンマークでの「人」を大切にすることを学ぶ必要を強く感じました。

以上、2日間を通して、やはり自主福祉活動は「当事者の目線」が大事だと言う事です。これを忘れたものは定着も長続きもしない。意見があれば速やかにそれを反映し、またそれを繰り返す事という手間を惜しんではいけないと感じました。

以上、報告と感想とします。

報告者

西部支部 副支部長 中島伸二



第37回勤労者福祉学習会報告

と き 2006年11月18日(土)

ところ 倉吉市「中部教育会館」

I. 多重債務被害防止セミナー
(株)プロFPJAPAN 向井佳三

II. 生活保障設計づくりのための事業団体報告
(中国労金・全労済)

III. 参加者88人

主催者代表挨拶で中田理事長より、緊急な課題として社会問題となっている、多重債務被害防止を目的とした学習会を計画しました。学習を深めることにより自己防衛は無論のこと、被害者を出さないよう連携した取り組みを行っていただきたいと挨拶があり、向井講師による講演が始まりました。

I. 「それでもあなたはお金を借りますか？」カードローンとリボ払いの落とし穴と題しての講演で自己破産、個人再生、特定調停件数の推移を示しながら利用者の傾向について説明がありました。

各種ローンのメリット・デメリットを説明しながら、借金と金利のシステムの解説がありました。借りる前に計画(収支)を立てることの重要性を話されました。

借入れ防止策としてのライフプランでは、一般勤労者

をモデルとした事例を紹介され具体的なトラブルの実態が話されました。

多重債務者問題の本質と今後、と題して出資法と利息制限法の上限金利間(グレーゾーン金利)についての問題点と解説が話されました。

最後に私たちはむやみに借入れを起こさないために

- 金利とシステムについて勉強し、借りたときこそ収支管理をしなければならない
- 借りて払えなくなったらプライドを捨てて解決を図ると締めくくられました。

II. 生活保障設計への提案で“ろうきん”“全労済”より「勤労者のためのライフプラン」と題してそれぞれ提案、提言がありました。

ろうきんより「一人の独立した社会人として充実した人生を歩むための設計図」が示され全労済より保険制度内容の知識を深める必要性について提言がありました。

閉会の挨拶で、今日まで労福協が取り組んできたクレ・サラ問題の署名活動への協力に対し山中専務理事よりお礼を述べ第37回研修会を終了しました。



向井講師



田中労金倉吉支店長



本内全労済東部支部長

労福協まつりが開催されました

中部支部

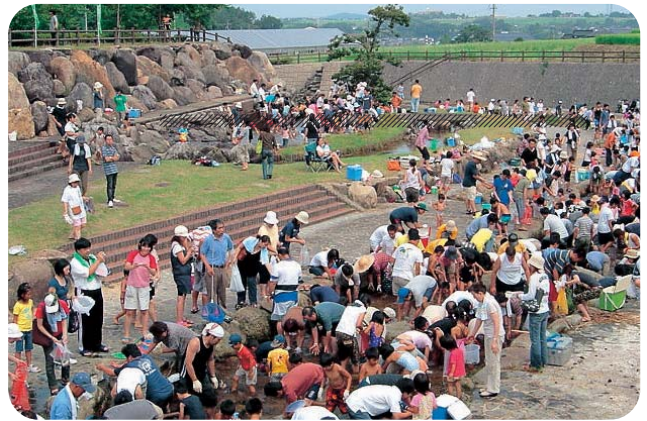
8月20日（日）、関金滝川親水公園において第2回中部労福協まつりを開催しました。前日までの台風の影響もなく好天に恵まれ、約550人の方にご来場いただきました。

いろいろなイベントが行われ、「クイズ大会」では労福協に関する様々な質問に会場は大盛り上がり！メインイベントでもある「マスつかみ」では、目の前で約2,500匹のマスが放流されると参加者のモチベーションは最高潮で、52cmのマスをつかみ上げ「大物賞」を取る方も・・・

小規模作業所による出店販売や、最後に行われた盛大な「お楽しみ抽選会」では、縁日の境内かと思間違えるほどの大賑わいでした。

無事に終わることができたのも労福協の役員のみな

さんをはじめ、様々なところで多くの方々の協力があったからこそ。来年もさらに盛り上がる労福協まつりにしたいと考えております。



西部支部

9月18日（月）米子産業体育館において第3回労福協まつりを開催しました。前日からの台風で開催が危ぶまれましたが、無事に開催することが出来ました。

今回のまつりは、屋台コーナーを作り、焼きそばやかき氷、大山おこわ、野菜の即売を行いました。開



始の挨拶と同時に多くの来場者で賑わい、600人分用意した焼きそばや大山おこわは、あっという間に売り切れてしまいました。

屋台に併設したふわふわドームやミニSLも開始早々から、最終時間まで多くの子どもたちの歓声が響き渡りました。

敬老の日ということもあり、70歳以上のご来場者に記念品を差し上げたり、子どもたちにお菓子の無料配布や、紙飛行機、こま回し等が楽しめるゲームコーナーを用意して多くのご家族連れに喜んでもらい、恒例の抽選会も行われました。

第3回を迎えた労福協まつりですが、第1回から労福協と労福協に加盟する事業団体の知名度を「まつり」を通して向上させることを目標に計画してきました。そして、回数を重ねる毎に確実に会員と連帯の輪を広げ、最終的には地域の福祉活動を行う組織と連携を図り、地域に根ざした活動を行うことを目標としています。

交通遺児と子どもに関わる福祉施設を支援します。
福祉カンパ活動へのご協力をお願いします。

お願い

私たちは勤労者福祉向上に向けてさまざまな取り組みや活動を行っています。その一つとして、将来を担う子どもたちに、元気で明るい生活を支援するために交通事故で不幸にして親を亡くした子どもたちに夢を与え、喜んでもらいたいとの思いからカンパ活動を街頭や職場の皆様にご協力を頂いています。皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

2005年度カンパ額と送り先

総額3,003,437円

（街頭カンパ671,361円・職域カンパ2,332,076円）

- ①交通遺児の皆さんに入学祝金や小・中・高卒業時に奨励金としてお渡しします。
- ②子どもの福祉施設整備充実のための寄付
東部50万円/中部50万円/西部50万円

福祉カンパ期間

- ・街頭福祉カンパ 12月（三地区に於いて実施）
- ・職域カンパ 2006年12月11日～2007年2月16日

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

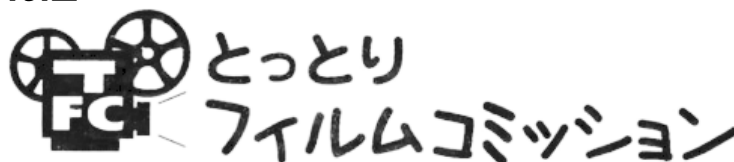
大切な住まいと家族の安心のために**自然災害保障付
火災共済**家財の保障も
忘れずにね！**再取得価額**

損害のあった住宅や家財と同程度のものを新しく購入、または修復できる価格でお支払いします。

※風水害については損害の程度により共済金を、また風呂の空焚きについては見舞金をお支払します。

お問合せ先

全労済鳥取県本部 鳥取市扇町14
TEL 0857-22-8234

NPO団体の紹介 No.2

フィルムコミッションとは、映画やテレビドラマ、CMなどあらゆるジャンルのロケーション撮影の誘致や、宿泊、食事、機材、許可申請などについて、情報を提供する組織のことです。

鳥取では、2005年1月「とっとりフィルムコミッション」を設立し、4月に県からNPO法人の認証を受けました。ロケ撮影は、県内の観光振興、産業振興、文化振興を図り、経済効果を生むメリットがあります。

◆◆◆鳥取フィルムコミッションロケ実績◆◆◆

- ハンセン病・今を生きる（小林綾子／境港、大山） ●温泉若おかみの殺人推理（東ちづる／鳥取砂丘）
- 西遊記（香取慎吾／燕趙園） ●魔界潜入！怪奇心霊ファイル（鳥取市国府町） ●テレビカラオケ背景映像（県内）
- 旅っきり～ふれあい紀行（角田信明、いとうまいこ／県内） ●子供たちへの贈りもの（CM／北栄町）
- 安倍なつみ写真集Fu（安倍なつみ／鳥取砂丘） ●につぼん菜発見（東貴博Take 2／県内）

「会員・賛助会員」募集

とっとりフィルムコミッションを息長く継続していくために、会員・賛助会員を募集しています。

- | | | | |
|------|-----------|-----------|----------------|
| ◎会 員 | 年会費5,000円 | ◎賛助会員（団体） | 年会費一口10,000円以上 |
| | | ◎賛助会員（個人） | 年会費一口 5,000円以上 |

連絡先 とっとりフィルムコミッション事務局
〒680-0835鳥取市東品治町111-1
TEL0857-29-3890 FAX0858-82-1344
E-mail masuo@jt4.so-net.ne.jp URL <http://www.tottori-fc.jp/>

2006年度 国内交流「IN沖縄」報告

2006年9月7日（木）～8日（金）場所；「沖縄都ホテル」

沖縄県那覇市参加者68名（内NPO13団体20名）で開催されました。

①沖縄県労福協におけるワンストップサービス「働く人のための生活相談センター」の取組み状況と9月からスタートした「緊急ファミリーサポートセンター」の取組みについて、NPO団体との連携した取組みについて報告・意見交換を行いました。

②沖縄県で行っている「生活相談センター」の現状報告をNPO団体と共に視察又、ライフスタイルを見直す環境会議（連合、労福協、労金、全労済）主催による「地球環境および地域環境とサンゴ礁」の記念講演を受けました。

中央労福協 笹森会長 より労働運動と福祉運動をどう地域の人たち・NPOの人たちと一緒に進めていくか、共通の意思統一を図りたい。と挨拶があり会議が開催されました。



新しく始まったワンストップSCは中部（沖縄市）を中心として立ち上げた。

沖縄県の歴史は基地問題の対応に追われる労働組合、その中での勤労者福祉活動の遅れ（10年専従役員不在）等、厳しい状況が報告されました。このような状況でワンストップサービスセンターが開設されました。

勤労者の拠りどころ；寄りどころとして（全労済窓口・労働金庫相談窓口・労働相談、法律相談、その他の相談受付け）勤労者のサポート事業が開始されました。又、厚生労働省委託事業の緊急サポートネットワーク事業の受託も開始したと報告がありました。

沖縄県での取組みは地域・NPO団体の協力連携があったことが大きな力となっていることが実感できました。

報告 常務理事 小高郷近

中部葬祭会館が オープンいたします。

2006年12月26日OPEN



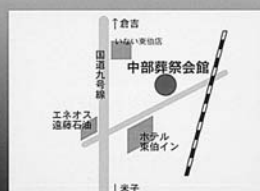
(株)ピアベール
中部会館

〒689-2301 鳥取県東伯郡琴浦町
大字八幡字東下河原83-1

TEL/ 0858-49-0077
FAX/ 0858-49-0078

琴浦町誘致企業

すべての人が癒され、
すべての人にやさしい会館作りを
していきたいと思っております。



子供を支えるあなたを支えます。 ろうきん育児支援ローン



妊娠中から小学校入学前までの子育て資金としてご利用いただけます。

申 込 資 格	○育児期間中(妊娠から小学校入学まで)の方	融 資 限 度 額	100万円以内
	○勤労者で安定継続した収入のある方 または育児休業中で復帰時期が明確な方	融 資 金 利	固定金利年 1.0%(別途年 0.5~1.0%の保証が必要です)
資 金 使 途	○育児期間中(妊娠から小学校入学まで)の 子育てに関する費用 ○育児休業中の生活費の補填	返 済 期 間	5年以内(据置期間を含む)
		据 置 期 間	育児休業中のみ据置期間が設定できます(据置期間は利息分のみ返済)
		返 済 方 法	元利均等毎月返済または元利均等毎月・ボーナス併用返済
		保 証	機関保証をご利用いただけます

※ 詳しくは店頭またはホームページの説明書をごらん下さい。
また、返済額は店頭またはホームページで試算できます。



はたらく人の生活応援バンク



鳥取県中小企業労働相談所

みなくる

フリーダイヤル しごとのなやみ

0120-451-783

月～金 8:30～17:30 (その他の時間は留守番電話対応)

Email minakuru@iris.ocn.ne.jp

相談窓口

鳥取県中小企業労働相談所
『みなくる鳥取』

〒680-0847 鳥取市天神町30-5
鳥取県労働会館2階(中国労金の建物)
TEL 0857-25-3000

倉吉中小企業労働相談所
『みなくる倉吉』

〒682-0802 倉吉市東蔵城町2
鳥取県中部総合事務所県民局内
TEL 0858-23-6131

米子中小企業労働相談所
『みなくる米子』

〒683-0054 米子市鞆町1-160
鳥取県西部総合事務所県民局内
TEL 0859-31-8785

たとえばこんな時、ひとりで悩まないでご相談ください

賃金、労働時間

解雇、退職

労働保険、社会保険

職場の人間関係、セクハラ

高齢者・障害者雇用

年次有給休暇、育児・介護休業

その他の事業

キャリア相談

出前講座

労働セミナー